

問 農林業による景気雇用対策を

答 地域上げて知恵を出し合い取り組みます



藤原 正憲

問 この不況下企業誘致も難しい中、無い物ねだりではなく、今ある農地、山を利活用することが必要ではないか。また森林王国としてふさわしい施策が実施できないですか。

市長 農林業は、本市の基幹産業でもあり雇用の確保、後継者育成のためあらゆる方面と協力しながら知恵を出し合い取り組んでいきます。また、森林王国として、間伐、植林など林業体験の場を提供すると共に地元住民との自然観察等を通じ、都市と農山村の交流を実施していきます。

市 いてよかったと思えるよう、市独自事業ができないか。

市長 少子化対策は市の重点施策として計画に基づき市独自事業も実施しています。高齢化対策についても健康寿命維持・継続のための施策等を地域と一体となって進めていきます。

問 合併により中心部と周辺部の格差が拡大している。各市民局毎に独自の事業・イベントがあってもいいのでは。

市長 旧町毎の資源や文化を活かしそして自分達の地域を良くするための提案も頂きながら事業等を進めていきます。

問 市内の離職者の現状と対策は

答 今年に入って離職者は400人にせまる



山下 由美

問 NECトーキンの突然の工場閉鎖に代表されるように、やむなく仕事を失う人がたくさんおられる。市役所一階ロビーに「相談事をワンストップで解決できる総合相談窓口」を設置するべきです。どうか。

市長 包括的な制度をすぐ導入することは困難であり、当面は市役所の総合案内を充実させワンストップサービスの形体を構築させます。外出支援サービスは、旧山崎町時代にその必要性を強く感じている町民が集まり、お年よりや障がいのある人の移動を保障する福祉公共交通システムを確立しようと、町議会に対し4,690人の署名を添え請願書を提出し、全会一致で採択されたものです。どのような

内容のサービスにするのかも、お年よりや障がいのある人の代表が加わった公共交通対策協議会で話し合い決定されました。ところが2年前の4月に、市民に何の相談もなくサービスを大幅に後退させた内容での4町統一が行われました。切り下げられたサービス内容を改善するべきです。市内全域の公共交通網を確立させるまでは外出支援サービスにもっとお金をかけ充実させるべきです。どうか。

市長 サービスを充実させるよう検討致します。

問 少子高齢化は益々進み、先送りはできません。生み育てやすい環境づくりと高齢者の介護保険料等の軽減・減免の拡大など穴粟に生まれ、住んで



波賀町小野のアカメヤナギ



NECトーキン山崎工場